

最先端映像技術 & ホログラフィ シンポジウム

新しい空間映像の世界に入って観よう!

【新しい映像時代に向けて、現在開発されている
最先端の映像技術などを紹介】

日時: 2013年 12月7日(土) 13:00~17:00 懇親会(無料) 17:00~

会場(講演・展示): デジタルハリウッド大学 3F ホール

住所: 101-0062 東京都千代田区神田駿河台4-6 御茶ノ水ソラシティ 3F
(JR・地下鉄お茶の水駅聖橋口下車徒歩約5分)

地図: <http://www.dhw.ac.jp/access/>

会費: 3D フォーラム/HODIC 会員 無料、一般 3000 円、学生 2000 円 ※資料代込

定員: 100名

連絡先: 三次元映像のフォーラム E-Mail: hagura@hyper.ocn.ne.jp TEL: 090-6184-6161

共催: ホログラフィック・ディスプレイ研究会、三次元映像のフォーラム(兼第 106 回研究会)、
最先端表現技術利用推進協会(表技協)

協力: デジタルハリウッド大学・大学院・スクール他

【プログラム】

司会・進行: 橋本 信幸(ホログラフィック・ディスプレイ研究会: 会長)

I. ベントンの先生の 10 周年の回想(ベントン メモリアル)

13:00~13:10 挨拶 杉山知之(デジタルハリウッド大学・大学院: 校長)

13:10~13:40 講演1 『ベントン教授の回想』 辻内 順平(東京工業大学: 名誉教授)

13:40~14:00 講演2 『Carrying On the Benton Vision』 白倉 明(株)アーティエンス・ラボ)

14:00~14:20 講演3 『ある日のベントン先生とのお話』 服部 知彦(Sea Phone Co., Ltd.: 代表)

14:20~14:40 講演4 『ベントン先生との出会いと動画ホログラフィ』

橋本 信幸(シチズンホールディングス(株)開発部)

14:40~15:00 休憩・展示

II. 最新のホログラフィの研究(研究発表)

15:00~15:20 講演5 『スペシャルイメージンググループの研究とその後の展開』

吉川 浩(日本大学 理工学部 電子工学科: 教授、前HODIC会長)

15:20~15:40 講演6 『電子ホログラフィの発展と展望: ホロビデオ Mark-I から始まった』

坂本 雄児(北海道大学大学院 情報科学研究科 メディアネットワーク専攻)

15:40~16:00 講演7 『最近の電子ホログラフィ研究: 複数の空間光変調器を用いた表示システム』

佐々木 久幸(情報通信研究機構 ユニバーサルコミュニケーション研究所 超臨場感映像研究室)

16:00~16:20 講演8 『並列計算システムと動画ホログラフィの発展』

伊藤 智義、下馬場 朋禄(千葉大学)

16:20~16:40 講演9 『ホロ TV 用のデータ圧縮方式の提案』

妹尾 孝憲(情報通信研究機構 ユニバーサルコミュニケーション研究所 超臨場感映像研究室)

16:40~17:00 講演10 『ホログラフィカメラを使った短時間で可能なホログラム制作』

石川 洵(石川光学造形研究所: 代表)

17:00~17:10 閉会の挨拶: 橋本 信幸および羽倉 弘之(三次元映像のフォーラム: 代表幹事)

17:15~19:00 懇親会(無料)

展示: ホログラム等(多数)